

第15回東大和市総合計画審議会 会議録

令和4年1月9日

東大和市

第15回東大和市総合計画審議会会議録

- 1 **開催日時** 令和4年1月9日（日） 午前10時～11時30分
- 2 **開催場所** 中央公民館視聴覚室
- 3 **出席委員** 菅野仁一委員、貴島信彦委員、小嶋哲夫委員、白相奈津子委員、田村茂委員、牧瀬稔委員、森林育代委員、石川和男委員、梶並純一郎委員、長谷川仁美委員
- 4 **欠席委員** 奥林一博委員、安齋幸一委員、尾崎恵理委員、佐竹芳浩委員、比留間めぐみ委員
- 5 **傍聴人** 0人
- 6 **事務局** 神山尚企画財政部長、藤本貴史企画財政部副参事、大野祐司企画担当係長
- 7 **公開・非公開の別** 公開
- 8 **次第**

- (1) 開会
- (2) 会議の公開
- (3) 会長挨拶
- (4) 議題
ア 東大和市第五次基本計画（案）の答申について（審議）
- (5) その他
- (6) 閉会

<配布資料>

- 資料1：（仮称）東大和市新総合計画について（答申）
資料1一別添：東大和市総合計画輝きプラン（案）
資料2：東大和市第五次基本計画（案）の主な変更内容等について

9 議事内容

(1) 開会

○会長

定刻となりましたので、第15回東大和市総合計画審議会を開催します。初めに事務局から議事、委員の出席状況、その他連絡事項について報告をお願いいたします。

○神山企画財政部長

改めまして、本日はよろしく願いいたします。

本日は、最終となる本審議会の開会に当たりまして、尾崎市長からお礼のご挨拶を預かっています。本日、市長は他の公務の都合で出席できませんので、私の方からご披露させていただきたいと思っております。それでは読み上げさせていただきます。

「本日は、お忙しい中、第15回東大和市総合計画審議会にご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この審議会は、本日のご審議をもって、終了となります。

委員の皆様におかれましては、ご多用のなか、令和4年度を初年度とする新総合計画の策定に向けて、平成31年度から継続してご審議をいただきまして、誠にありがとうございます。

第三次基本構想については、令和2年10月に答申をいただき、同年12月に市議会での議決を経て、策定いたしました。第五次基本計画については、本日の審議会後にいただく答申を踏まえ、策定いたします。その上で、本年3月に、第三次基本構想と第五次基本計画を併せて、新たな総合計画輝きプランとして計画書を発行させていただきます。

今後、この輝きプランに基づきまして、少子高齢化と人口減少が進展する中であっても、市民の皆様がいきいきと活動する、活力あるまちづくり、持続可能なまちづくりを進め、目指す将来の都市像である「水と緑と笑顔が輝くまち 東大和」の実現に向けて、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、長い期間に亘りまして、東大和市の将来のために、さまざまなご意見を賜り、厚く御礼申し上げます。今後とも、市政運営にお力添えを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご健勝を祈念いたしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。

東大和市長 尾崎保夫」

代読でございます。

それでは、事務連絡をさせていただきます。

本日は委員15人中10人の方が、現時点でご出席いただいております。東大和市総合計画審議会条例第7条第2項の規定に基づき、過半数の委員の出席により、本日の会議は成立することとなります。

新型コロナウイルス対策の関係でございますが、本日も換気のためドアを開けたままにしております。二酸化炭素の濃度を測定器により測定もさせていただいております。マイクを使用させていただきますが、事務局でその都度消毒をさせていただきますので、お時間をいただきます。

私からは以上です。

(2) 会議の公開

○会長

続いて議題の2、会議の公開に入ります。事務局から報告をお願いします。

○藤本副参事

おはようございます。事務局の藤本です。よろしくお願いいいたします。傍聴の方でございますけれども、現在、希望の方がいらっしゃいませんので、会議につきましてはこのまま進行していきたいと思っております。よろしくお願いいいたします。以上です。

○会長

ありがとうございました。傍聴の方は来た時点が入っていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいいたします。

(3) 会長挨拶

○会長

先ほど、部長からもありましたけれども、今回で最終回となりますので、またご意見をいただきたいと思っております。

この審議会は、令和元年9月28日が第1回なんですね。第1回の会議開催以来、新総合計画の策定に向けて審議を重ねてまいりました。今回が最後となります。

現在、検討を進めている第五次基本計画（案）につきましては、前回、11月27日（土）の審議会でご審議いただいたパブリックコメントの結果を、昨年12月末に公表しております。

また、前回の会議で委員の皆様からのご意見を踏まえて、最終的な計画案の修正を行っております。

本日、第15回となりますが、その第五次基本計画（案）の最終的な内容について、答申に向けて最終審議をお願いしたいと思っております。

最後の審議となりますので、委員の皆様におかれましては様々な角度からご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいいたします。

(4) 議題

ア 東大和市第五次基本計画（案）の答申について（審議）について

（資料1－別添：東大和市総合計画輝きプラン（案）、及び資料2：東大和市第五次

基本計画（案）の主な変更内容等について、を基に説明）

○委員

おはようございます。おめでとうございます。

今、会長並びに事務局からご説明をいただきまして、大変ありがとうございました。

今日で最後ということで、2年半弱、委員として関わらせていただきまして、大変お世話になりました。自分自身にとっても大変ためになりまして、改めていろいろなことを経験させていただいたと感じております。会長、副会長、委員の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。特に事務局の皆様にはいろいろなことを申し上げまして、人数の少ない中、一生懸命やっていただきました。ありがとうございました。この場をお借りしまして、挨拶させていただきます。

最後ですので、細かいところまで踏み込んで話をさせていただきたいと思います。

まず、ご説明がありました、資料の別添のものですけれども。この計画そのものですが、今後、富士通総研さん、業者の方が、レイアウトやデザイン、いろいろなところを見て、いいものを作っていただきたいと、そういう期待をしております。特に、この資料的には、例えば「東大和市総合計画 輝きプラン」、こういう表題も、レイアウト、デザインは見直すと言われていますが。

特にお話ししたいのは、これからずっと残るものですから、過去のもの、前回の総合計画等と比べられますので、しっかり表現していただければと思います。レイアウトや、作成の年数表示や市章も表紙と巻末にしっかり入れたり、作成年数などもしっかりお願いしたいと考えております。

内容的には今まで言ってきたので、お聞きしたいのが、資料の別添の 159 ページのところ。資料編のところから、少しお話しさせていただきます。資料編の1の「策定の経過」。このことにつきましては、やはり「東大和市総合計画策定の経過」などと、しっかり書いていただきたいと思います。同じく 160 ページの「策定の体制」も同様に、「東大和市総合計画策定の体制」などのように、見てすぐに分かるようにしっかり書いていただければと思っています。

この 2018 年7月に、「総合計画策定本部の設置」とありますが。続いて、策定本部のほかに庁内では部会も設置されていますので、そのこともしっかり 2018 年以降の分の中に入れていただきたいと感じております。

それと、市民に対して、同じ企画財政部の広報の担当がいらっしゃるわけです。市報にこれまで載せてきていますよね。そういうことも、年数は調べていただいて、こういうこともやってきていますということで、159 ページに載せていただいたほうがいいと思います。

160 ページですけれども。こちらの内容が、我々に関わってきましたので分かるんですけれども、一般市民が見たときに少し説明が足りない気がします。市議会が左側にあつて、その下が総合計画審議会、真ん中が庁内検討組織、右側が市民意見・市民

参加で、庁内検討組織から提案・説明を市議会にしているようにも捉えられがちです。例えば、真ん中の庁内検討組織の上に、これ全体を取りまとめるのは市あるいは市長で、内部にこういうのがあるということを示さないと誤解を招くと思います。

総合計画審議会に諮問をするように矢印が出ていますけれども、これは、市長が会長に諮問をしていただいたわけですから。その辺のところも、ここで示せなければ欄外に、提案・説明はこういうことですか、答申、諮問はこういうことかと書いていただかないと。残るものですので、しっかりやっていただければと感じます。

同じく 160 ページの（１）総合計画審議会で、「概要」の下に「学識経験者（８人）と公募の市民（７人）」と。ここを、「（７人）の合計 15 人で構成される市長の諮問機関で、市長の諮問に応じ、総合計画の策定に関して必要な事項について調査審議し、市長へ答申します」というようにしっかり書いていただいて、すぐ分かるような文面にしていただけたほうが良いと感じます。

それと、この委員名簿の欄外に米印で任期、「令和元年（2019 年）9 月 28 日から令和 4 年（2022 年）1 月何日まで」と、答申の日付をここに入れていただくんですけども、こういうのも入れておく必要があると感じます。

また、異動で途中で替わられた委員もいらっしゃいますが。例えば、それぞれに「令和 3 年 4 月何日まで」、「令和 3 年 4 月何日から」と、やはり日付まで書いていただけたほうが良いと思います。あとの方は任期満了まで、答申まで関わったことになると思うんです。もちろん、替わられた委員も何日からこの答申までというように見られるので、そういうのが良いと感じます。

引き続き、話してよろしいですか。161 ページに行ってもよろしいですか。

161 ページですけれども。こちら、「審議等の経過」の下に「回数」となっていますが、回数とは「開催回数」のほうが良いと思うんです。「日付」も、やはり正式なものですので、「開催日」と直したほうが良いと思います。「内容」は「審議内容」と。議題も含めて。議題以外のこともやりますから、大きく含めれば審議ですので、「審議内容」というような表題が良いかと。なぜこのように言うかといいますと、過去の基本計画等にこういう表現が出ていますので、参考に見ていただければと思います。

特に第 1 回の令和元年 9 月 28 日、我々が委嘱状を市長からいただいたところですが、議題の前に黒ポツで 3 つぐらい。3 つのポツというのは、例えば 1 つ目は「委嘱状の交付」、2 つ目は「会長・副会長の選出」、3 番目が「市長より諮問」で、①として「東大和市第三次基本構想（案）について」、②が「東大和市第五次基本計画（案）について」と、このように。初日は諮問のほうは読み上げられただけで、後で資料をいただいたわけですが、そのようなこともここに載せていただけたほうが良いと思います。

第 2 回以降についても、例えば第 2 回のところ。我々はかなり細かいところまでい

ろいろ審議してきたということがあるので、この（１）（２）（３）。11月9日の（３）の「第三次基本構想（素案）の検討について」のところは、過去の資料では（ア）（イ）（ウ）となっています。例えば、（ア）として「第三次基本構想策定の共通認識の確認について」、（イ）は「第三次基本構想（素案）の内容について」、（ウ）は「新しい都市像の考え方について」と、このように細かく議論をしてきたということがあるので、これはやはり載せておいていただかないと。我々が細かいところまでやってきたことが残りますので。

我々は15回までやっていますが、過去の資料を見ると21回だったり。たしか、前は部会も開いたりしてやっています。我々も、15回といえども細かいところをやってきましたということを書いていただきたいという思いで申し上げました。

長くなって申し訳ありませんが、162ページに行きますと。（２）の総合計画策定本部の概要、こちらに「市長、副市長、教育長及び部長・参事で構成され」云々と書いていますが、この辺はもう少ししっかり書いていただければと思います。内部で要綱なり何なりでこのように立ち上がった策定本部ですので、例えば表記としては、「本部長が市長、副本部長が副市長・教育長、本部員が部長・議会事務局長及び参事」と。過去がそのようになっていたので、今は違っていたら直していただきたいんですが、しっかり書いていただく。

下の策定部会は「各部の課長職で構成され」と書いてありますが、そういうことでいいのかなど。各部の庶務担当課長や係長は入っていないのかなど、その辺も書いていただいたほうがいいと思います。

策定本部と策定部会の構成並びに開催回数や開催日、審議内容等については、過去の計画のように、具体的にその内容、日付ごとに一覧表で表記していただければと感じます。今のところ、以上です。よろしくお願いします。

○会長

ありがとうございます。しっかり丁寧に書いてくださいというご意見だと思います。これにつきまして、事務局のほうから、よろしくお願いいたします。

○藤本副参事

ご意見ありがとうございます。今の内容をまとめさせていただいて、ご意見も踏まえて修正をさせていただきたいと存じます。

修正ですけれども。次の審議会はございませんので、今のご意見も踏まえて会長と調整させていただき、修正のほうを進めさせていただくような形でよろしいでしょうか。

○委員

最終的には、会長、副会長、事務局にお願いして、まとめていただければと思っております。もう1つ追加、よろしいですか。

資料2の3/3ページの最後のところ、「今後の予定」に書いてありますが、

3月に新総合計画が発行される予定ですが、当初の予定では、計画書の本編のほかに概要版を作るということが、最初の審議会の資料に載っていたと思います。概要版は必要だと思うんです。概要版を作る予定はどうかということ。

あとは、動画については、先ほどちょっと出ましたが、具体的にはどのようなイメージなのか、内容を少しお知らせいただければと思います。計画書の配布先もお願いできればと思います。以上です。

○藤本副参事

ありがとうございます。

まず1点目の概要版ですけれども。概要版につきましては、作成する予定でございます。今の第四次基本計画については計画書の概要版はございませんでしたけれども、新しく出来る新総合計画は、冊子が大変厚くなりますので、市民の皆様に見てくれというのは難しいところもございます。分かりやすく、ページ数を絞った形で概要版を作る形で進めております。

それから2点目、動画の関係でございます。動画については先ほど、10分程度ということでご案内いたしました。今のところは事務局の案でございますけれども、今、ご説明をした概要版の内容、概要をさらにまた抜粋するような形で、ナレーションも加えて作りたいと。あと、尾崎市長にもご出演いただいて、市長自身でお話ししていただくような動画を作りたいと思っております。

3点目の配布先でございます。配布先について、具体的に詳細はまだこれからですけれども。こちらの新総合計画、ほかの計画もそうですけれども、計画書は有償になっておりまして、基本的に有料の販売になります。ただ、今、皆様や庁内には当然、無償で配らせていただくような形で進めております。ホームページにはデータを全てそのまま載せますので、冊子という形ではありませんが、ホームページからダウンロードしていただければ見られるようにしたいと思っております。以上でございます。

○会長

ほかにどうでしょうか。では、お願いいたします。

○委員

いつもあまり発言をしないので、最後ぐらい、1つ2つしようかと思ひまして。

資料1別添の143ページ、公共施設等のマネジメントというところで、ご回答で、前のページに借地をしている内容を追加したのでそれでどうかというお話がございました。

これを両方見ますと、「可能な限り廃止又は私有地への移設を検討します」となっていて、前のページのほうは「公共施設等の中には、市民体育館や市民会館など、借地によって用地を確保しながら行政サービスの提供を行っている」と、こうなっております。これを両方読み合わせますと、市民体育館や市民会館を何とか借地からやめさせたいと、このように読み取れてしまいます。實際上、これは非常に難しい話では

ないかと思えます。

結局、この 143 ページに書いてある内容は、体育館や市民会館だけでなく、ほかにいろいろな借地があって、それらをなるべく移設したいと読み取れるわけでありませうけれど、一般の方は、これは、体育館や市民会館を何とかそうしたんだなというように読み取ってしまうと思えます。

ということは、この「市民体育館、市民会館など」というところに、あと何か所ぐらいほかに借地があるんだと、たくさんあるんだからそこを1つずつ変えていきたいと、このように何か表現をしないとイケないのではないかと思えます。ですから、141 ページのほうに件数なり何なりを加えなくてはイケないのではないかと思えます。それが1点です。

それから2点目、資料編のほう。先ほど他の委員からもありましたけれども。この総合計画審議会の概要が、この表現ですと「答申します」となっています。これはもう答申した後に作る話なので、ここは表現が違うのではないかと思えます。こういう委員で構成されている機関で市長への諮問機関であるというような形で終わらせたほうが、その後の総合計画策定本部の概要がこの概要と合ってくるのではないかと思えます。

それともう1つ、これは今日の話ですけれど。162 ページの第15回が「1月8日(日)」となっていますが、今日は9日ではないかと思えます。以上です。

○藤本副参事

ありがとうございます。

まず1点目の、141 ページの公共施設の借地の関係でございます。確かに、委員のおっしゃるように捉えられてしまうかなと、私も今思いながら、ご意見を聞いておりました。

借地の件数は、市の公共施設の中で正直、様々ございます。例えば分かりやすい例で言いますと、ゲートボール場や一部の公民館など、件数で言うのもなかなか難しい部分もあるんですけれども、様々な施設の中に借地を利用しているものがあるって、そういうものを段階的になくしていきましようという趣旨での表記でございます。ですので、ここは、委員がおっしゃったように、誤解がないように文言は再検討させていただく形で考えております。

それから、160 ページでございます。総合計画審議会の概要は総合計画審議会条例の文言をそのまま引用したんですけれども、そのままですと分かりづらいところもございまして、こちらについても改めて再検討させていただきたいと思えます。

それから、162 ページの日付の関係です。こちら間違っております。1月9日です。今回の開催についても、市報の関係で皆様いろいろとご迷惑をかけましたけれども、訂正させていただきたいと存じます。申し訳ありません。以上です。

○会長

ほかにどうでしょうか。では、お願いいたします。

○委員

私からは2点あります。まず、159 ページの一番下、令和4年（2022年）のところの空欄がどういう文言が入るのか、教えていただきたいということ。

あとは、160 ページの委員名簿のところ、皆さん、「学識経験者」と「公募の市民」だけですけれども。前回の計画書もそうだったと思うんですが、皆さんの属性を入れたほうが分かりやすいのではと思いました。公募の市民の方でも、例えば「子育て世代代表の方」のようなところがあると、この計画が様々な視点から多様性を持つてつくられた計画なんだということが分かるような気がしました。以上です。

○藤本副参事

ありがとうございます。まず、159 ページの下のところ、空欄ですけれども。こちらに入る内容については、今回の審議会の後に会長から答申をいただきましたら、その答申の内容、「総合計画審議会から市長に対して第五次基本計画を答申」というものを入れるのと。その後に基本計画を策定いたしますので、その2つを入れたいと考えておまして、空欄にさせていただいていると。今の段階で入れられないので空欄となっているところです。

それから、2点目の委員名簿の属性の関係です。そういった属性を入れている他市の事例等もあることは認識しております。例えば市民の方については、今回は年齢の区分を設けているので、その辺は入れられるかと思いましたが。ただ、学識経験者の皆様については、皆様のご意向も確認しないと、事務局だけでは決められないと思っております。前回も空欄になっていたんですけれども、空欄にさせていただいているところです。皆様のご意見がどうかを、逆に確認させていただきたいと思っております。以上です。

○会長

それに関してですけれども。学識経験者に関して、皆さん、所属を書いてもらっては困るという方はいらっしゃいますか。あるいは、書いてもいいという方はいらっしゃいますか。ここで一応、意見を聞いて、また今日お休みになっている方には意見を聞いて、全員が書いてもいいとなれば書いてもいいという気がします。1人だけなかったら違和感がありますので、そこは確認をしておきたいと思うんですけれども。どうでしょう。

○副会長

問題ないです。

○会長

大丈夫、はい。いかがですか。

○委員

何を書くのか、なしでいいのかなと思います。

○会長

最初の方の会議で配られた委員名簿に記載のあった、団体の代表の肩書だったり。

○委員

別に構いませんが、差し障りがある人もいるのかと思うんですけど。

○会長

後でまた改めて事務局で個別に確認していただいて、それで決めたほうがいいのかという気がします。

○藤本副参事

分かりました。

○会長

それでよろしいですか。どうぞ。

○委員

ありがとうございます。例えば私だったら、会社名となっても多分、何のことだか分からないので、どういう分野、例えば男女共同参画の学識経験者というような感じで、分野を書いていただいてもいいのかと思いました。以上です。

○会長

それも踏まえて、個別に事務局内のほうで確認していただいて。場合によっては分野で統一、あるいは所属で統一、1人2人が駄目な場合はなしということでやっていきたいと思います。

○委員

質問いいですか。

○会長

どうぞ。

○委員

何月何日現在のことという感じになるんですか。これはかなり長い年月なので、そのうちどのようになっているかということはあるんですけども。2022年1月現在ということですか。「元」というのも入るということは。

○会長

イメージ的には多分、委嘱した日になる気がします。

○藤本副参事

確かに、属性を書く場合、時点はなかなか難しくて。委嘱の際には商工会の会長をお務めいただいたんですけど、今はそうではないという方もございますので、時点の整理も必要になってくると思っています。今、会長がおっしゃったように、委嘱の段階で書く方法もあると思いますし。

○委員

今、思いついたというか。自分は商業のほうで出ているから、商業の人はそれでいいと思うかもしれませんが。農家の方が多分、出ていないんです。そうすると、そちらの分野の人が、何でうちのほうは誰も、1人も出ていないのかということになってくるのではないかと思うんですけれども。だから、その辺、書いていい面と、やはり書かないほうがいい面と、両方あるのではないのでしょうか。以上です。

○会長

その辺も踏まえて、改めて、事務局に個別に相談していただいて。という形で決定していきたいと思います。確かにいろいろな意見がございますので、進めていきたいと思います。

ほかはどうでしょうか。では、お願いいたします。

○委員

この表紙の絵はどのようなものに決まったのかというのは、ありましたか。

○藤本副参事

この前、絵を見ていただいたと思うんですけれど。今日、審議会が終わりましたら最優秀作品を発表させていただくので、表紙の絵はそれを載せるということで考えております。以上です。

○会長

ほかはどうでしょうか。では、お願いいたします。

○委員

前回お休みしてしまったので、最終の段階まで意見を盛り込めなかったんですけれど、細かい文面のことでも大丈夫ですか。

○会長

結構です。

○委員

では、55 ページの教育に関するところで、展開方向2の具体的取組の3つ目、「いじめや不登校などについて」の文面。そこの2行目最後の「学校内における指導の強化」というところが、20年先を考えると少し古い形になってしまうかと。今さらながらで申し訳ないんですけれど、そこをすごく感じました。「家庭や関係機関と連携を図りながら」はいいと思うんですけれど、例えば「多角的な視点で現状を把握し、子供の心に寄り添う対応に努めます」などという形にしておいたほうがいいのかと感じました。

今までの時代だと、指導する、学校の中で起きたことは、学校の問題は学校でと、子供を指導する形になっているんですけれど。それをしてきたはずみで、子供たちが「分かってくれない」などと。思春期に難しい状況を、学校に行くと「来なさい」と指導されてしまうという、苦しいところが分かってきている段階に今あります。そこ

がこれから 20 年、指導ではない、対応でないと、もう限界がきていると分かっているから、きっと大きく変化するのではないかと感じるのです。そういう、対応するようなニュアンスが伝わればこの表現でなくていいので、指導強化という形は抜いたほうがいいのではないかと感じました。

それともう 1 つが健康に関するところで、ページで言うと 58 ページ辺りです。今までの審議は、新型コロナがすごくはやっていて先がどうなるか分からない状況の中でずっと話し合いをしてきたので、新型コロナウイルスという言葉が幾つか、ページにはあると思います。ここに「新型コロナウイルスをはじめとする」となっているんですが、20 年間これがずっと続くかという、そこはやはり疑問という。だから、具体的な病名よりは、「新型感染症など」というように大きなくりに戻したほうがいいというか、1 つに限定しない形のほうが 20 年先を考えるといいと感じました。

二転三転してしまう感じの、せつかく議論してきたところをもう一度もむような形になってしまって申し訳ないんですけど、先を考えてどういう表現をするかを少し検討していただければと思います。

それから、資料 2 の最後の 3/3 ページの一番最後、動画を作りますというお話です。それはすばらしい、いい活動ですが、動画を作ることに注力して、完成したら「やった」で終わってしまう気持ちがあると思います。一番大事なのは、その動画を作ったことをどう生かすかということだと思って。「作りました」で置いておいただけでは誰も気がつかないので、それを例えば Facebook や何か公式の、市で載せているところにばんばん宣伝するような形を取ったり。

人がインターネット上で書いた言葉であれば、口語に近いではないですか。だから、こういう内容が載っていますよという簡単な注釈をいろいろな角度から何度も投稿して、ここを見てねと URL を置いてという形で、いろいろな角度でこの動画自体を活用できるのはその後のことなので。

作って終わりではなくて、その先どう生かすかを、何かプロジェクトを組んでいただいて、広めていきましょう、周知しましょうとやってみると、SNS でも割といけるという実感の第一歩になると思うので。その先のことを大事に、もう少し具体的な案を考えていけたら、この先いいのではないかと思います。以上です。

○藤本副参事

ありがとうございます。まず 1 点目の教育の関係、ページで言いますと 55 ページのところでございます。展開方向 2 の「主な具体的取組」の上から 3 つ目のところ。いじめの関係の指導の強化ということでございます。こちらについてはこれまでたしか幾つか、ここの項目でご意見をいただいて、この文言になっているかと思います。改めて今日いただいたので、担当部との調整が少し必要になってくると思いますので、持ち帰らせていただいて、ご意見も踏まえて、会長と調整させていただくような形で対応を検討したいと思います。

それから2点目、58ページの新型コロナウイルスの関係です。こちらも、これまでの議論の中で、新型コロナウイルスの扱いをどこまでそれを表記したらいいのかということも議題になってきたところでございます。

1つ言えるのが、その次のページの59ページを見ていただきますと、展開方向2にこれからの市の施策が載っています。展開方向2の一番下に、新型コロナウイルスということで書きましたけれども、「新型コロナウイルスをはじめとする感染症の感染拡大」ということで、施策のほうでは新型コロナとあまり限定する形ではなくて、長期間の計画を見据えた表現にさせていただいております。一方で、その前のページの58ページについては、「現状と課題」でございますので、新型コロナウイルスの感染拡大は、「保健、医療」施策の現状と課題を分析する上では不可欠というところで表現させていただいております。施策のほうはあまり限定するようになっていないというところで、このような形で対応させていただきたいと思っております。

3点目の動画の関係です。動画の関係は、完成させることだけが目的ではございませんので、出来ましたら、SNS等を使いまして積極的にアピールしていきたい、見ていただくような形で進めていきたいと思っております。以上です。

○会長

ありがとうございます。行政の「あるある」なんですけれども。シティプロモーション動画を作るんですが、動画を作る予算は用意していても、その動画を広げる予算を用意していないというような。だから、結局、広がらないというのが結構あつたりしますので、その辺は大事だと思います。注意していただければと思います。

ほかにどうでしょうか。では、お願いいたします。

○委員

たびたびすみません。資料1一別添のところ、先ほどの説明で聞き漏らしたかもしれませぬけれども。

まず、この計画書の資料の中で、諮問書と答申書は正式なものの写しを載せていただきたいと感じています。過去も載せていますし、大事なところですので、お願いしたいと思います。先ほど説明があつたら、申し訳ありません。

その資料の最後の175ページ、4番の中学生絵画コンクール。募集して、作品が16作品だったことは承知していますけれども、やはりこれは記録に残りますので。この説明で、中学生絵画コンクールの本文の上から4行目「コンクールには」で、対象者を「市内の一中から五中の中学1年から3年まで」などと。その辺のところは後になると分からなくなるので、そういうところも事情がなければ書いていただければと感じます。以上です。

○藤本副参事

まず、1点目の諮問と答申書でございます。今の計画書にも載っておりますので、ご意見も踏まえて載せる方向で考えたいと思っております。

それから、最後の 175 ページ、絵画コンクールの関係です。こちらについても、コンクールには 16 作品の応募があるということで、少し説明が足りないと思いますので、「市内中学生から」というような文言を追記する形で考えております。以上です。

○会長

ほかにどうでしょうか。では、よろしいですか。

それでは、審議を終了したいと思います。議題（１）「東大和市第五次基本計画（案）の答申について」、ご承認いただくということでご意見はございませんか。

（一同了承）

○会長

ありがとうございます。では、こちら、ご意見なしということで承認させていただきます。

今いただいた、細かいものにつきましては、基本的には私と副会長、事務局に一任していただきたいんですが、適宜、各委員にも照会しようと思いますので、その際はよろしく願いいたします。

それでは、本日の議題は全て終了しましたが、まだ時間がございますので、各委員から一言、ご感想をいただきたいと思います。この感想につきましても議事録に残していきますので、何か事務局に不満等があれば遠慮なく、この際に言っていただきたいと思います。よろしく願います。

では、こちらの委員からぐるっと回っていきたいと思いますので、よろしく願います。

○委員

これまでありがとうございました。

初めて、こういう形で市の計画づくりというものに携わらせていただいて、とても難しいと思いつつも、よくよく読んでみると自分たちの生活につながってくることで、考えていくと分かってくることもたくさんあって、すごくいい勉強になり、人生経験になったと思います。

開催の回を重ねることで、時間のやりくりなどで参加できないことも多かったと思います、申し訳ありません。各々に様々なご事情もあり、都合を合わせて参加された訳ですが、来ていただくのはいろいろな世代、各分野ということで、やはり、全員が全員、定点的にでも経緯を見ながら参加できる形ではなかったもので、若干なりとも偏りがどうしても出来てしまうと思いました。若い世代の方はなかなか参加できにくいのはもちろん承知ですが、それでもやはり、10 年後というのは自分たちの生活に関わるところなので、可能な限り参加できる形でもう少し促していただけたら、いろいろな意見がもっと幅広く聞けたのではないかと思います。なかなか難しいことではあると思いますが、今後また同じような感じで募集なさるときは、できる範囲で参加を基本にということをもう少し押していただけたらよいかと思います。ありがとうございます

ました。

○委員

まとまってよかったと思います。

僕もふだん、仕事ではどちらかといえば事務局側にいることが多いので、こういう立場でやるのも面白いと思って参加していました。感想なんですけれど、いろいろ思うところは……。

市役所というところなので仕方がないかなというところもあるんですけども。例えば資料2の3ページ目のパブリックコメントのところの話は、これはこれでいいですけど、「実施方法については、他市状況等も踏まえ、今後必要に応じて検討していきたい」ということは、今は検討する気はないのだろうという気もするし、「他市の状況を踏まえ」というのもやはり端々に出ていたんです。

やはり、もう少し前向きな、あるいはアグレッシブなことを考えて今後はこういうことをやっていかないと、取り残されていくのではないかという気がします。東京都も結構、今は大胆な施策も打っていると思うので、そういうことを今後お考えになったほうがいいのではなかろうかというのが、すごく思うところではありました。

以上です。どうもありがとうございました。

○委員

長い期間ありがとうございました。

感想を申し上げますと、私も今まで市役所のいろいろな部署にいました。その後に、シルバー人材センターの事務局として6年いました。今は、いろいろな地域の活動に関わらせていただいています。

日々考えると……。今日の委員の皆様方もいろいろな代表でいらっしゃって、造詣も深いと思います。例えば環境の話やSDGsの話など、私も役所にいましたので頭の隅には少しありますけれども、それでもいろいろ議論をするとまだまだ再発見があります。ジェンダーの話などに造詣が深い方もいらっしゃるんですけども、私も勉強させていただきました。

例えば昨日、テレビでジェンダーの内容を特集していました。それを見ると、私は胸が震えるような思いをしました。やはり、世の中には、自分で考えている以外のものを情報発信しないと分からない部分があるんだと。受けたときに真摯に受け止められるだけの自分の気持ちがあるかどうかということ、これからいろいろ動けるのかなと思うんです。

先ほど、役所の表現云々ということで。私も元いたところなので少し感じるころはありますけれども、バランスなどいろいろなことがあるので、それは致し方ない部分もあると思うんです。ただし、今は行政がいろいろ、どこが売りだとか、そういうところで競争する時代なので、役所の職員もその辺のところを、先ほどの方が言われたように前向きにどんどんやっていかないと良くならないのかなと感じます。

この委員をやらせていただきまして、大変参考になりました。これからも地域で頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

○委員

ありがとうございました。長きにわたり、大変勉強になりました。皆様のご意見をいただきながら、改めて東大和市について深く考えるきっかけをいただきました。

遂に、もう出来上がりそうということで、結構感慨深いものもあります。

私の場合、男女共同参画のご意見番な感じで出席させていただいているかと思いますが、第三次の男女共同参画の計画のほうが先に出来ていて、総合計画が後追いになってしまったというのが一番、私が歯がゆかったところです。できれば、第三次の男女共同参画の計画のほうにも私が参加して、それで総合計画に参加するというように、系統立てていきかけたかった。せっかく大事な計画なので。

というところがあったので、もし今後、計画をつくる際には、そういったところも配慮して進めていただけると、より深い計画が出来上がるのではないかと感じました。

東大和市さんの計画に私は初めて参加させていただいたんですけれども、運営や事務局の詳細さというのが素晴らしいと感じました。なので、非常に意見も出しやすかったし、事前の資料の読み込みなども本当にやりやすかったと思います。

このたびはありがとうございました。以上です。

○委員

どうもお疲れさまでした。

私が参加させていただく中で感じた事は、財政上の理由などが、本来進めたいとする計画なり方針に影響を与えたものになったと感じています。そういう意味では、事務局の皆さんもいろいろとご苦労されたと思います。従いまして、全体的には積極的な攻めて作ったという感覚より、どちらかと言うと消極的なものになったのかなと思っています。

いろいろ制約はございましたけれども、作成に携われたことは大変勉強になりました。

今後、実施計画の中でいろいろと工夫していただき、これに沿った施策を展開していただければと思います。ありがとうございました。

○委員

ありがとうございました。

私は、保育園の園長会のほうから代表として出させていただきました。私の場合、子どもの育ちの連続、育てるということで、子どもの育ちというのは本当に簡単ではなくて。今回の総合計画、こんな大きな計画に出させていただいて、やはり、市を育てるのも子育てと一緒に、失敗や、いろいろなことの連続の中から出ていくものなんだということが一番大きく感じました。

やはり、この大きな計画を支えるのは大人たちの毎日の小さな行動だったり、前向

きな姿勢を子どもたちに見せるということ、こういう計画の中に入っているいろいろな前向きなことを子どもに知らせていくことはすごく必要だと。

また、大人が仕事をして、例えばすごく疲れた顔ばかりしていたら、仕事は疲れるものなのだと取ります。やはり、楽しかったり、わくわくしたり、輝いていたりという、計画の中に入っているようなことを子どもに見せていくことができると、1人1人の姿がこの東大和市の空気をつくっていくのかなという。まずは、自分も含めて、子どもにそういった前向きな、物事に対して否定的な見方、人のせいやもののせいにするのではなくて、自分たちでこういったことを進めていけるような……。

20年後にどのようになっているのかが少し楽しみです。私自身も、こういった、東大和の内容を知らないことがたくさんあったので、これに参加させていただくことができ、ここから役割をいろいろ果たしていけるような動きをしていければというように感じました。ありがとうございました。

○委員

長い間お世話になりました。ありがとうございました。

私は、市のいろいろな審議会をやらせていただいて、大体は簡単に終わるんですが、この審議会だけは長くて、大変だと思って。最初から分かっていたらやめたかなと思います。

ただ、自分が高齢のほうだということで、出来たものが大きく間違っさなければ、大きな間違えだけ犯さなければそれでいいかという、ちょっとご意見番のような感じで出席をさせていただきました。

大変いいことができたのではないかと考えております。本当にありがとうございました。

○委員

長い期間、審議会に参加させていただきましたけれども、体調があまり思わしくなく、意見をたくさん言うことができなくて、誠に申し訳なかったと考えております。

私は、生涯学習、生涯スポーツの推進計画を平成29年につくった張本人でございまして、それを何とかこの総合計画に入れてもらいたいということで参加をしたような形でございます。スポーツに関する計画や生涯学習の計画で、室内プールを造りましょうとか、体育館をもう1つ造りましょうとか、計画で、実際にできるかどうか分からないけれど、そういう計画を立てたんですけれど。

実際に今度、総合計画をやってみたら、これは歳入が全然足りないと、維持するだけでも大変なんだと、こういう形にきてしまいましたので、口を開くのがなかなか難しくなっていました。

とはいえ、やはり、少しでもいろいろなことが拡大していけるような形で、今度は実施しているところにこの計画を生かして、拡大路線を少し取っていただきたいと、このように考えております。まとまりませんが、以上でございます。

○副会長

お世話になりました。副会長という名をいただきましたけれども、副会長としては何もできず、ご迷惑をおかけしていた、そんな思いであります。

審議会が始まるということでお声をかけていただいたのが、3月に私が現職を引退して別な仕事をやっていたところなんですけれども、今度こういうのがあるからということでお声をかけていただきました。

市内の小学校を何校か回らせていただいた中で、親子、場合によってはおじいちゃん、おばあちゃんを含めて3代にわたって同じ学校を卒業していると、そういう方が多いのに本当にびっくりしました。一度、仕事か何かで他市へ出るんですけども、やはり子育ての段になって戻ってくる、そういった地域なんだと改めて知ったということです。

私自身は教育関係の仕事をやらせていただきながら、こういった総合計画のようなものがあるのは薄々分かってはいたんですけど、では、実際にそれを手に取って見たかという、そういうことはなくてですね。今回、本当に、この2年半、一緒に審議会に出させていただきながら、こういったものがあるということを知ったという。今まで何をやっていたんだとお叱りを受けそうなんですけれども、そんな気がします。

多分、一般市民の方々も、存在を知らない方もたくさんいらっしゃるのではないかと思います。ですから、計画が出来た後、例えば YouTube や概要版で市民の方々にお知らせをするということでもありますけれども、そこがすごく大事なだろうと。つくって終わりではないので。それをいかに市民の方々に知っていただくか。これからそういったところにまた力を入れて進めていけばいいのかなと思いました。

本当に、皆さん方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

○会長

ありがとうございました。

もう少し時間をいただきまして、せっかくなので、事務局のほうも感想をいただければと思います。

○大野企画担当係長

企画課の大野です。長い間ありがとうございました。委員の皆さんが、総合計画の策定に向けて真剣に議論をしていただき、皆さんのご意見に感動したというのが感想です。今は、新型コロナウイルスの関係で集まったりするのは難しい状況ですが、またいつか皆さんと集まることができたらいいなと思いました。長い間どうもありがとうございました。

○藤本副参事

本当に長い間お世話になりまして、本当にありがとうございました。私もなかなか不慣れなところで、当初は資料の送付が遅れたり、説明もつたない部分があつて、皆

様にはご迷惑をかけたということで反省をしております。

一方で、こういう会を設けさせていただいたことで、自分自身も皆様のご意見を聞きながら成長することができたかなと思っております。今、私がここにいるのは本当に皆様のおかげだと思っておりますので、また別の機会がありましたら、御協力をいただきたいと思います。

本当にありがとうございました。

○神山企画財政部長

皆様方、本当に活発なご審議をいただきまして、どうもありがとうございます。

3年にわたるご審議だと思いますが、私は最後の1年に関わっておりまして、その前の2年間は別の部署、都市計画課というところにおりました。都市計画課ではこういった会議を3つ、4つ持っていたんです。先ほど、委員もおっしゃっていましたけれど、ここまで議論が活発な会議というのはなかなかないと思います。

私は、都市計画課にいたときからずっと思っていたことがありました。今、皆様方からお言葉をもらったときにも、自治体間の競争が非常に激しくなっているよと。大胆な施策も打っていかねばいけないのではないかというお言葉をいただいたと思います。実は、私も都市計画にいたときからずっとそう思っていました。というのは、駅前の状況が結構寂しくなっているんで、このままだと周りの市に飲み込まれてしまうのではないかという危機感をずっと持っていたんです。

過去、私がここに来る前に、2年間というのはこれはいいチャンスだと。なぜかという、これが市の最上位計画でございます。ここにいろいろなことをやっていくというのを入れないと、今後10年、20年、市の大胆な施策をやろうと思っても向きが変わっていかないとずっと思っていました。なので、まちづくりの分野の記載は結構踏み込んで、今までと向きが変わった記載になっているのではないかと考えています。

これはあくまでもスタートラインですので、これをどうやって実行に移していくかというのが職員の力量にも関わってくるわけでございます。皆様方のこういった熱心なご審議に報いるためにも、職員一同、1つでも多くの施策をやっていくことが務めではないかと思っております。

引き続き、市のほうにお力添えをいただくことをお願いしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○会長

皆様、ありがとうございました。

今、都市間競争、自治体間競争というキーワードが出てきましたけれども。私の持論すけれども、競争、コンペティションを勝ち抜くためには「共に創る」、いわゆるコクリエーションのほうです。同じ「きょうそう」ですけれども。今、協働という話もありました。それに近い考えですけれども、共につくっていくと。そういう場が出

来たのではないかという気はします。皆様の知見をいただきながら、共にそういう動きがつけられましたので、その第一歩になればいいと思っています。

多分、今後も皆さんのお力もいただきたいと思います。私は来年度も関わる予定です、ぜひ今後もお願いできればと思います。

それでは、本日の議題については全てこれで終了いたしました。

第五次基本計画（案）につきましては、今月の1月28日金曜日の8時45分から、私から市長に答申をさせていただきます。

それでは、今回ご審議いただいた「東大和市総合計画（案）」につきまして、策定するということで作業を進めていきますので、よろしく願いいたします。

最後に、議題の5のその他についてであります。連絡事項等がありましたら、事務局からお願いいたします。

（5）その他

○藤本副参事

ありがとうございます。本日のご意見の中で検討事項になっている事項につきまして、先ほど会長からもお話しいただきましたように、会長、副会長、事務局で調整させていただいて、皆様に情報提供をさせていただきますけれども、進めさせていただきますと存じます。よろしく願いいたします。

それから、本日の会議終了後でございますけれども、先日、前回の会議の終了後に見ていただきました、中学生絵画コンクールの入賞作品をご報告させていただきます。大変申し訳ございませんが、終わりましたも着席のままお待ちいただきたいと存じます。以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

全体を通じて、皆さんのほうから何かございますか。よろしいですか。

それでは、議題6の閉会になります。本日予定しておりました案件につきましては、全て終了いたしました。本日は最後の会議ということで、長い期間、ご協力いただきましてありがとうございました。これをもちまして、第15回東大和市総合計画審議会を閉会とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

—以 上—